

コミュニケーション・オン・プログレス (COP)

COPの対象期間： 2019/4/1 ～ 2020/3/31

1. 最高経営責任者による継続的支援の表明

ステークホルダーの皆様へ

私は、ここに株式会社ビジネスコンサルタントが国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境、および腐敗防止に関する10原則を支持することを再度表明します。

当社はSDGsと国連グローバル・コンパクトおよびその原則を、事業戦略や企業文化、日常業務により一層浸透させるべく継続した取り組みを行ってまいりました。この年次のコミュニケーション・オン・プログレスにおいて、その取り組みについてご報告いたします。また、当社の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当社の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様にご紹介してまいります。

代表取締役社長執行役員 横関 哲嗣

2. 取り組み状況

◎包括的な活動として、

- ・昨年度に続き、全社をあげて、お客様組織がサステイナブルな組織を構築するためのサポートと、社内でのサステイナビリティ推進の取り組みを進めた。
- ・2019年度からサステイナビリティ推進委員長を任命して推進を加速させた。
- ・サステイナビリティを企業経営に統合するためのツールFuture-Fitを広めるために、Sustainable Blanding のフォーラムのブロンズスポンサーとなり、イベントでパネルディスカッションに登壇した。
- ・The Natural Stepの会員になるための取り組みを進めた。(Work Shop等)

人権

☆従業員に安全で適切、かつ衛生的な労働環境を提供する。

特筆施策；

- 事業所での喫煙場所の制限、更に、利用時間の制限を行った上で、非喫煙日を設定した。
- 資源ステーションを社員の当番制で清潔に管理。意識の向上を図った。

☆職場における嫌がらせ、例えば、肉体的、言語的、性的、心理的嫌がらせなどから従業員を守り、虐待や脅迫からも守る。

特筆施策；

- 従業員向け相談窓口を設置と周知の徹底を図った。
- 社内で全社員を対象にパワハラに関する勉強会を実施した。
- グリーン購入法適合商品を始め、環境にやさしい製品の利用に努めた。

労働

- ☆いかなる形においても、強制労働、債務労働を課さない。
- ☆最低賃金の水準を守る。
- ☆雇用関連の決定は、適切かつ客観的な基準をもとに行う。

これらの遵守に努めた。

特筆施策；

- 営業部門の社員を対象に、1日の労務勉強会を行い、労働時間に対する考え方の徹底理解を図った。
- 規程の改定の際は、必ず社労士などの専門家の情報を確認している。

環境

特筆施策；

- 本社で、資源ステーションを設置し、リサイクルする資源、燃やす資源、燃やさない資源等に細かく分類の仕組みを構築した。
- 地震や津波などの災害時に対してBCPの一環として、本社で100名の3日間の食糧・水の備蓄を実施。
- 研修資料で使用する紙をFSC認証のものに変更した。
- プラスチック製のクリアファイルの利用を2019年度に完全廃止を実施。

腐敗防止

- ☆社内におけるさまざまな手続きが、会社の腐敗防止のコミットメントに沿うものとなるようにする。
- 新規取引先との取引条件として、暴力団等反社会的勢力との取引がないかを確認している。

3. 結果の測定

- 女性の産休の取得、復職者は継続して増加傾向。男性の育休取得者は未だいない。
- 喫煙と癌の関係や、副流煙の人体に及ぼす害などを広報した結果、喫煙率が25.6%から24.9%に減少した。
- 紙の資料の適正数依頼の徹底、再利用の促進により、コスト的に下がった。
- CO2の定量的な測定は、2019年1年間で概算だが
S C O P E 1 166.2t-co2、S C O P E 2 192.1t-co2 であった。
- 2019年度 約90,000枚使用していたポリプロピレン製ファイルを全面的に廃止したことにより約15.4tの削減を果たした。

SDGsとの社内での主な取り組みとの相関表

No	取り組み内容	SGDs の関連するゴール
1	健康経営の推進（健康診断の100%受診他）	3
2	煙と癌の関係や、副流煙の人体に及ぼす害などを広報、禁煙日の設定	3
3	Well-being に関するプログラムを開発し、顧客に届けている	3, 4, 8
4	サステナビリティのノウハウを先進事例に学び、顧客に届けている *Future-Fit ビジネス・ベンチマークの公開、SustainOnline の販売	4, 8
5	社員への様々な学びの機会の提供	4, 8
6	ライセンス・Biz-Ex など非稼働商材の拡充と拡販	4, 13
7	GBGP でサステナビリティに関する情報を発信している	4, 10, 17
8	返却された研修資料の無駄の削減と再利用の促進	12
9	お客様用プラファイルの全面廃止	12
10	公開講座内でのペットボトル使用を廃止	12
11	お客様用バックをエコマーク基準を満たした布製に変更	12
12	資源ステーションの設置によるゴミの分別	12
13	本社、ペットボトル利用削減のためにウォーターサーバーの導入	12
14	段ボール使用を減らすため、再利用可能なプラケースを利用	12, 15
15	研修資料に FSC 認証紙を使用	12, 15
16	資料の一部に大豆インキ以上に環境に配慮したベジタブルインキを利用	12, 15
17	社内業務とお客様へのプログラム提供で ZOOM 等の Web アプリの活用、	13
18	サステナブルフードの積極的利用	13, 14
19	年末調整の手続き・社会保険手続きの電子化(Web化)	13, 15
20	社外のサステナビリティに関する団体(GCNJ, JCLP 等)との積極的な交流	16, 17

以上



COMMUNICATION ON
PROGRESS

This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.